

H I C医療通訳ボランティア派遣事業の運用計画

平成31年2月 ひろしま国際センター

1 運用計画

実証（試験）運用	平成31年11月30日まで ※当初は平成31年3月31日までとしていたが、事業の普及・浸透を図るため延長する。
正式（本格）運用	平成31年12月1日から

2 実証運用の計画

(1) 派遣対象の区域等

区分	医療機関の派遣区域	保健機関の派遣区域	備考
第1段階 30.11.27~	広島市	広島市, 廿日市市	
第2段階 31.4.1~	広島市, <u>廿日市市</u>	同左	廿日市市は、外国人が多く、登録ボランティアの住所地から近い ため、医療機関の派遣区域に加える。
第3段階 31.9.1~	広島市, 廿日市市, <u>三原市, 尾道市, 福山市, 府中市, 世羅町, 神石高原町</u>	同左	7月に福山市で養成研修を行い、 県東部地域に居住する登録ボラン ティアを派遣する。

※第2段階の状況を踏まえて、派遣区域の拡大等を検討する。

(2) 派遣依頼者の費用負担の軽減

事業の普及・浸透を図るため、次のことを引き続き実証運用期間において行う。

○ボランティアに対する協力金・交通費相当額は、ひろしま国際センターが全額負担する。

(3) その他

医療機関や保健機関等からの意見・要望は、正式運用に向けた制度見直しに反映させる。